

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイ 桜花		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 10日	～	令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 13名	(回答者数)	11名
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 10日	～	令和8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 8名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境設定・人員配置	製作や指先を使った遊びなどの静の遊びを楽しむ部屋と運動遊びをする部屋とで分かれているため、子どもたちがそれぞれのやりたい遊びに集中することができる環境設定になっています。また職員の配置を豊かにすることで、子ども一人ひとりのニーズに応じた手厚い支援を提供し、安心して過ごすことができるような体制を整えています。	子ども一人ひとりの発達や特性に応じて、物的環境や人的環境を見直しながら、より柔軟でより良い支援体制の構築に取り組んでいます。
2	一人ひとりの発達に合わせた遊びや移行支援の実施	散歩やプール、クリスマス会などの季節の活動を取り入れながら園生活に近い経験を重ねることができるようにしています。また一人ひとりの発達や特性に応じて、個別で力を育むことが必要か、集団の中で活動しながら力を育むことが必要かを見極めながら活動を設定しています。こうした日常生活との繋がりを子ども一人ひとりの育ちを意識した活動を通して、園生活や就学へスムーズに移行していけるよう支援しています。	子ども一人ひとりの発達や特性に応じて、活動内容を工夫し、園や家庭での生活とより具体的に繋がる経験を増やしていきます。また関係機関との連携を深めながら、よりスムーズで子どもの育ちに適した移行支援を行っていけるよう取り組んでいます。
3	専門職の充実と子どもの一人ひとりを大切にしたい支援の実施	保育士に加え、作業療法士や言語聴覚士配置することで、言語面や運動面での発達を専門的な視点から捉える体制を整えています。多職種で子ども一人ひとりの課題や強みを共有し、遊びの中で支援に繋げることで、主体的な活動や遊びを通じた育ちを大切にしています。	職員間で情報共有やケース検討会議の機会をより充実させることで、支援の質の向上を図っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援の充実	保護者同士で交流し、情報共有や悩みを共有できる場の設定が十分でなく、ご家族同士のつながりを育む機会が少ないことが課題だと考えています。	保護者同士が気軽に交流できる場を設けるとともに、相談しやすい環境づくりや情報共有の機会を増やし、家族支援の充実に取り組んでいます。
2	地域交流や外出の機会の確保	幼稚園や保育園終了後にデイを利用する場合も多いため、時間的な制約があることや、初めての環境に不安を感じやすい利用児もいることから、地域との関わりや外出の機会が限られています。	園がお休みの長期休みや祝日などを利用しながら、子ども一人ひとりの様子に合わせて、無理のない範囲で外出や地域との関わりを取り入れていきます。事前に見通しを持てるようにしたり、近場の外出から行うことで安心して参加することができるよう支援していきます。
3	職員間での連携	共有ノートや日々の会議などを用いて子どもの姿や様子を共有し、支援方針を話し合っていますが、勤務時間が異なることや延長支援にも対応している点から会議に参加することが難しい職員がいるため、支援方法の統一が図りにくい状況があります。	会議に参加することが難しい職員にも短時間で情報共有が行えるよう、記録の活用や引継ぎの明確化を進めていきます。職員間で共通理解を深めながら、支援の統一と質の向上に取り組んでいます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童デイ桜花				公表日	令和8年3月30日	
					利用児童数	13名	回収数 11名
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11				・十分すぎるほどの広さだと思います。 ・先々の子供の成長を促す工夫をしていただく点において感謝しかありません。	・2つの訓練室を十分に使用し、その日の利用児の年齢や人数、活動内容に応じて配置を工夫し、安心して過ごせる環境作りをしております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10			1	・トラブルがあっても対応できている様子なので、スタッフの目が行き届いているのだと思っております。 ・保育士の方の充実に加えて、専門職の方がいらっしゃるのも心強いです。	・今後も適切な職員配置を心掛けながら、安心してご利用頂ける支援体制を大切にしていきたいです。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11				・子どもの目線に合わせて工夫がされていると感じます。 ・運動遊びをする部屋とおもちゃで遊ぶ部屋の子供が見ても分かりやすく区別されていて、鍵の施錠も子供が触れないように上部に設置されており、安全対策もされていて、とても安心して子供を預けれるので助かっています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11				・見学時は、いつも綺麗にスッキリとしている印象です。	
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10			1	・本人のどのようなところを伸ばしたいかなど親身になって要望を聞いて下さり、特性を理解したフォローをして下さり、ありがとうございます。	・子ども一人一人の特性を大切にしながら、その時々に応じた支援の提供に心掛けております。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10			1	・今後も個々が社会環境に適応できるよう促す支援を宜しくお願いいたします。	
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11				・活動内容の説明など、よく理解できます。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9			2	・目指すは社会に少しでも馴染め個々が困難にならないよう促しつつ、保護者への体調への気配りも感じています。	・これからも、保護者様や関係機関とも連携を取りつつ、具体的な支援内容の設定と支援に努めていきます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10			1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9			2		・今後も、子どもたちの成長に合わせて、活動内容が固定化されないよう工夫を重ねていきます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	2	1	2	・個々についての話し合いも行われていること知っています。	・子どもたちの安全面を十分に考慮した上で、交流の機会を増やしていけるよう、今後
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	1				・運営規定、支援プログラム、利用者負担等、今後さらに分かりやすい説明に心がけて
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9		1	1	・理解しています。	・児童発達支援計画書をもとに支援の内容をご説明しておりますが、今後もより丁寧で
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	1	1	3		・今後、家族支援に関する取り組みについて、より分かりやすくお伝えできるよう心がけていきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	11				・いつも感謝しております。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11				・子どもが職員さんを慕っており、安心して	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	2	1	1		・季節の行事等を通じて、交流する場を設けたり、保護者様同士が交流を持てる機会を今後検討していきます。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10			1		
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10			1		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10	1				・定期的にデイの様子や活動内容がわかるよう、写真の共有やデイだよりの発行、またホームページにてグループ全体の情報共有にも努めていきます。
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11						
23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7		1	3		・各種マニュアルの整備及び訓練等を行っておりますが、今後は保護者様にわかりやすくお伝えできるように工夫していきます。	

非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8			3	・子どもから訓練をしていることは聞いています。	・非常災害の発生に備えて、定期的に訓練はしておりますが、今後保護者様にもよりわかりやすくご説明できるように工夫していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8			3		・当事業所では、安全を最優先に支援を計画、実施しております。今後、安全確保に関する計画や内容等について、よりわかりやすく共有していきけるよう努めていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11				・いつもデイからのお迎えを楽しみに本人自ら玄関で待ち構えております。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11				・毎日笑顔で通っています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	11				・連絡帳や送迎時にスタッフの方から今日の様子を細かく教えてください、定期的な面談の際にも、よく見てくださっているなと感じるエピソードを聞けるので安心しています。	・今後も安心してデイに通って頂けるよう、スタッフ一同 こども一人ひとりに寄り添った支援に心掛けていきます。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイ桜花				公表日	令和 8 年 3 月 30 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・大きな訓練室が2部屋あるので、活動内容に応じて訓練室を分けて、有効的に利用しています。	・個別療育をしたり、年齢の低い利用児が落ち着いて休息を取るための個別の空間が取れるように、今後それぞれの訓練室の環境設定を工夫していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			・急な欠勤や状況の変化が生じた場合に、十分な余裕を持った人員配置が難しい場面もあるため、今後 応援体制や人員体制の方法について検討し、より安定した職員配置が行える用検討していきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・2階のフロアはバリアフリーになっており、子どもたちが活動したり生活する上で、十分に安全が確保された設計になっています。	・子どもたちがより安心して過ごせるように、障害の特性に配慮した小さな個室やスペースを作るなど、環境設定の見直しを進めていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			・訓練室の室内にマットやじゅうたんを敷くなど、障害の特性に応じた居心地の良さや安全面に配慮した環境設定に心がけていきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・各々の部屋の空間を上手く利用し、必要に応じて個別の空間や場所で過ごすことができるよう、配慮しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			・定期的に会議等を実施し、業務上の課題や改善点について意見を申し出る機会を作っているようにします。また職員全体で情報共有し、業務改善に対する共通認識が持てるよう努めていきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			・会議の中で、子どもたちの支援についての話し合いは十分されていますが、個別の悩み等に対して職員が安心して意見が表出できる機会や方法についても今後検討していきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			・外部研修への参加の機会が十分取れていないため、シフト調整をしたり、オンラインで参加できる研修などに参加したりと、学びの機会を作っていくよう努めていきます。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・保護者と面談したり、子ども一人ひとりの状況についてアセスメントを行い、職員間で情報共有や検討をし、児童発達支援計画を作成しています。	・子どもや保護者のニーズや課題、成長や変化等を計画に反映できるよう、引き続き支援の質の向上と障害の特性を理解した計画立案に努めていきます。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・子どもたちに支援に関わる職員が全員で情報共有をし、職種や立場に関わらず意見を出し合えるよう配慮しています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・日々の支援において、計画に基づいた支援が行えるよう、職員同士で確認や情報共有を行っています。	・計画内容の理解や実施方法に関して、職員間で差が出ないよう、共有方法の工夫を検討していきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・日々の支援の中で、行動観察や関わりを通して、子どもの状況を継続的に把握するよう心掛けています。また、職員間で情報共有し、支援や計画立案に活かしています。	・日々の行動観察によるインフォーマルなアセスメントが中心となっており、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントに関しては、今後支援の質を高めていく視点からも検討していきます。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・5領域に添って、より具体化された支援内容の設定と実施に心掛けています。また、日々の行動観察と保護者からのモニタリングをもとに、より子どもたちの現状に合った目標設定と無理のない課題の設定に心掛けています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			・活動プログラムの立案を、専門職ごとで検討や振り返りをしていき、支援内容の充実と質の向上に努めていきます。また、スタッフ全体での共有の場を持つことで、より質の高いチーム支援に繋げていくようにします。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・職員間で意見を出し合い、活動の幅が広がっているよう取り組んでいます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・その日の子どもたちのメンバーに応じて、活動内容や参加方法に関しても柔軟に対応し、無理のない形で進めていけるよう努めています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			・個々に応じて時間の制約があり、全員揃っての打合せが十分行えない場合があるため、確実に打合せする方法を今後検討していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	・支援時間中に気づいた点や子どもの様子などをその都度共有し、風通しのよいスタッフ関係を保つよう心掛けています。	・業務の都合上、すべての日に十分な振り返りの時間が確保できていない場合があるため、短時間でも情報共有ができるような体制を構築し、今後振り返りをする時間がしっかりと取れるような仕組み作り心掛けていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・日々の支援記録をしっかりと取ることで、個々の支援の振り返りや検証、改善点の把握に繋がっています。	・職員間で記録の取り方や記載方法にバラつきがあるため、支援の方向性を統一していく観点からも、支援会議等で記載方法についても、今後意見のすり合わせをしていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・定期的にモニタリングを実施し、支援内容の確認や今後の課題の見直し等、意見を傾聴し、適切な計画書の作成・見直しを行っています。	・モニタリングの内容等、より分かりやすく整理して記載することで、適切な見直しと課題の設定に結び付けていけるよう工夫していきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・子どもたちの状況をよく理解している職員が参画し、日々の支援の様子等を共有しながら、各関係機関や保護者の方との連携を図っています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・必要に応じて関係機関（幼稚園や相談支援事業所等）と情報共有や担当者会議を行えるよう、日頃より連携が取りやすい関係作り心掛けています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・日頃より、併行利用や移行に向けての支援は、関係各所と連携を取りながら進めています。また、担当者会議や関係機関との情報共有などを通じて、支援の方向性にズレが生じないように心がけています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		・今後、必要な場面が出てきた際には、支援内容等の情報共有をしっかりとしていきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		・必要に応じて、情報共有や相談する機会を持ち、助言を受けるなどの連携を図っています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		・今後、近くの幼稚園や保育園との交流の場を設け、活動する機会が持てるよう検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・日頃より、連絡帳や送迎時のやり取りで情報共有をしています。また気軽に見学や相談する機会が持てるような体制を日頃より取っています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		・ご家族様に対して、面談等で情報共有する機会を持たせて頂いておりますが、研修や保護者懇談会等の実施に向けては、今後検討していきます。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に、書面を見ながら一つずつ説明を行っています。特に大切な部分に関しては、保護者様が理解しやすいよう丁寧に説明するように心掛けています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・日頃より、定期的に見学や面談する機会を設け、子どもたちやご家族様の意向を確認する機会を持つようにしています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・面談の際に、今後の課題や目標等を確認し、児童発達支援計画に反映するようにしています。目標にズレがないように、しっかりと支援計画の内容についても説明するようにしています。	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・必要に応じて、面談や助言する機会を設けています。	・日頃より、相談や助言をしやすい雰囲気作りを心掛けていきます。また、保護者の方が相談しやすい体制を構築していけるよう工夫します。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		・保護者同士やきょうだい同士が交流する機会は、療育のイベント以外ではまだ持っていないので、内容等を検討して今後実施できるように努めます。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・子どもや保護者からの相談について、相談の申し入れがあった際には、迅速にかつ適切に対応・助言できる体制をとっています。また必要に応じて、相談支援員を交えてより建設的な対応ができるよう心掛けています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・デイでの様子がわかるよう、日々の情報共有に加えて、デイだけの発行および毎月の活動写真の共有をしております。	・HPおよびSNS等の活用に関しては、今後検討していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・契約時にしっかりと確認と説明を行うとともに、保管に関しても取り扱いには十分留意し、適切な管理に心掛けています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・子どもたちの障害の特性に応じた方法で、より伝わりやすいコミュニケーション方法の実施に心掛けています。また保護者の方にはメールを使ってわかりやすく伝達できるよう、伝え方や伝えるタイミング等にも配慮して進めています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	・現在、地域住民を招待した行事の実施には至っていません。	・地域の方との交流について、子どもたちの障害の特性を踏まえた上で、保護者の方の意向も聞きながら、検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各マニュアルを策定し、職員に対して内容の周知を行うとともに、発生を想定した訓練も定期的を実施しています。	・マニュアルの内容に関して、保護者への周知が十分とは言えないため、今後は周知の方法についても検討していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害を想定した訓練を定期的に実施しています。	・訓練内容の定期的な見直しをし、想定される課題の検討を重ね、繰り返し訓練していくことで、より実践的な訓練となるよう努めていきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・契約時や必要時に詳細をしっかりと聞き取りをし、子どもたちの状況の確認と把握に心掛けています。	・必要に応じて、医師の意見書や母子手帳・お薬手帳の確認をすることで、より状況理解が深められるよう努めていきます。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・食物アレルギーのあるお子さんについては、医師の指示書や検査結果をもとに、支援の現場でも厳重な体制で管理しています。またすべてにおいて、ダブルチェックの徹底に心掛けています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画の作成をし、研修や訓練を通じて、常日頃より安全管理を意識した支援に心掛けています。	・今後も、より具体性のある訓練の計画と実施に努めていきます。また、振り返りと再課題の設定をし、お子様を安全にお預かりできる体制作りを心掛けていきます。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			・より分かりやすい形での周知を行い、家族との連携をさらに深めていけるよう努めていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハット事案を事業所内で共有し、再発防止に向けた対応についても、職員間で話し合い共有するよう心掛けています。	・今後も必要に応じて、共有方法や振り返りの方法など話し合いの場を持ち、再発防止に向けて取り組みを継続していきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止に関する外部研修の参加と、事業所内での伝達講習や内部研修の参加を重ねて行くことで、意識向上と適切な対応に努めています。	・定期的な話し合いにより、日々の振り返りと意識向上に努めていきます。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・社内委員会で判断基準を定め、それに従って支援を提供しております。また、契約時にも同意書をもとに丁寧に説明するようにしています。	・今後も職員全員が理解を深めるとともに、必要最小限となるように努めていきます。また職員間でも、意識しお互いに伝えあえる関係性を築き、日々支援していきます。	